



〒581-0003 八尾市本町 7-11-18
八尾メディカルアベニュー 2F
TEL 0729-90-5820
FAX 0729-90-5830

菊池内科ホームページ

<http://www.kikuchi-clinic.com/>
<http://www.kikuchi-clinic.com/ez/> (for EZweb)
<http://www.kikuchi-clinic.com/i/> (for i-mode)

- ・ 4月からの老人医療費値上げ
- ・ 受診についてのお願い
- ・ 時刻表検定試験

明けましておめでとうございます。

21世紀になったと思ったら、いろいろなことがあり、あっという間に1年が過ぎてしまいました。皆さんは、どのような思いで新年を迎えられたのでしょうか。

この広報誌は、当院の開業から4か月遅れて、1999年(平成11年)1月から発行を始めました。月初の発行が原則ですが、「都合により」遅れた月もありますし、いつまで続くか自分でも心配でしたが、先月号でお知らせしたようにプリンター(印刷機)の方が先に2代目(2台目)となりました。

「よく毎月できますね」と言われることがありますが、「仕事」と関係のないことなら続かなかったかもしれません。私の考えを皆さんに知っていただくことや、医療関係の情報を知っていただくことが、診療の延長というか、診療の一部になっていると思っています。

今年最初の話は、やはり医療費の話になります。

1月から始まる通常国会で、「医療制度改革」について議論されますが、試案の通りなら、**老人医療の自己負担が「上限なしの1割負担」になるのは、今年10月から**になりそうです。また、**社会保険本人の自己負担が2割から3割に増えるのは来年4月から**になりそうです。

ところが、私もうっかりしていて、一瞬あっけにとられてしまった値上げの話がありました。**今年4月からの「老人医療の負担金の値上げ」**です。

おいおい、さっき10月からと書いてあったぞ!と言われそうですが、事実です。

老人医療の負担金の値上げ(今年4月から)

1日800円(月4回まで) 1日850円(月4回まで)
(当院も含めた定額制の診療所)

参考までに、

定率制の診療所および200床未満の病院は

1月3000円 1月3200円

(院外処方の場合は、医療機関と調剤薬局で各1500円 各1600円)

200床以上の病院は

1月5000円 1月5300円

(院外処方の場合は、医療機関と調剤薬局で各2500円 各2650円)

となります。

つまり、1か月間の上限が200円(200床以上の病院は300円)増えることとなります。

この値上げは例の「医療制度改革」とはまったく無関係です。医療費が増えると、それに比例して自動的に値上げができるような法律の改正が一昨年12月に行われており、それによる値上げなのです。したがって国会で議論されるわけでもなく、医師会などが反対することもなく、当然のごとく値上げが決定されました。

しかし、800円が850円に増えるということは、値上げ額は少ないものの、**値上げ率は6.3%**となり、かなりな値上げです。

医療制度にしても年金にしても、「少子高齢化」や「不景気」が原因で赤字になったかのように言われています。

民間企業だけではなく、国や地方自治体までが「バブル」に踊らされ、「バブルの崩壊」の影響を受けていますが、「バブル」に踊らされなかった民間企業もあるわけで、それを理由にはできないと思います。

ましてや、「少子高齢化」は「バブル」のように作られたものではなく、かなり以前から(人口の統計によって)十分予測できたことです。それを降ってわいたかのように、今すぐ改革しなければ手遅れになるというのはおかしな話です。

厚生労働省(旧厚生省)をはじめとする、役人達の責任は大きいと思います。彼らの対応の遅さは、古いところでは「水俣病」「イタイイタイ病」などの公害問題、新しいところでは「薬害エイズ」「ハンセン病」「薬害ヤコブ病」そして「狂牛病」などにあらわれています。

10年以上も前から外国では危険なものとされているものが、役人や政治家の無能のために国民が犠牲になる。その繰り返しです。

医療や福祉は国民生活の根幹であり、政治・行政が信頼できるような改革が行われないう限り、安心して生活できないと思います。

「医療制度改革」では、お金の問題ばかりが表に出ますが、その結果としては生命に関わる問題です。

昨年1月に、老人医療費が1日530円から800円に値上がりしましたが、その時の国会で「医療費が払えなくなる人がでると思うがどう考えるか」と質問された、当時の津島という厚生大臣は、「私は払える」と答弁したのです。

しょせん、彼らはその程度のものだと思いますが、国民はどうなるのか、日本はどうなるのか、知りたいものです。

しばらくは厳しい時代が続きますが、健康には十分お気をつけ下さい。皆さんが健康で、当院と縁が切れるのが望ましいのですが、そうなるようにできるだけ努力したいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

受診についてお願い

昨年11月と12月は、インフルエンザの予防接種が集中したせいもありますが、かなり混雑しご迷惑をおかけいたしました。お詫び申し上げます。

ただ、混雑の仕方にもバラツキがありますので、できるだけご協力をお願いいたします。

1. 土曜日は特に混雑します。

学校や仕事などの都合で土曜日にしか受診できない患者さんが結構おられます。(それが、患者さん本人のこともあれば家族の方の都合のこともあります)

最近では、他の曜日の2倍以上の患者さんが受診されることもありますので、他の曜日でも受診が可能な患者さんは、できる限り、そのような事情の方にお譲りいただきたいと思っております。

2. 連休明けも混雑します。

連休明け(当院の夏休みや年末年始休業も含めて)はかなり混雑します。

3. 1日の中でも混雑の仕方はちがいます。

半数以上の患者さんが、最初の1時間に集中して受診されることがよくあります。その場合、「午前10時に受付をされた患者さんは1時間半待ちで、正午に受付された患者さんは待ち時間なし」ということがあります。だいたい、最初の方に集中しますが、寒い時などで、早い時間の方がすいていることもあります。

したがって、あらかじめ混雑が予想される日の受診は控えていただくか、それなりの覚悟をお願いいたします。

また、受診される前に、電話で混み具合をご確認ください。とくにお急ぎの場合や、熱発・腹痛などで長く待てない場合などは、できる限りお電話をください。お電話を頂いた時点で受付とさせていただきます、できるだけ待ち時間を短くできるようにします。

電話で自動的に予約を受け付ける装置なども商品としてはありますが、一長一短があり、数百万円もするわりに実用になるかどうかわかりません。

ただ、サービスの一環としての予約制は今後の検討課題としたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

聴診器がかわりました。

ふつうの聴診器は、先端で拾った音がゴム管の中を通過して耳まで届きます。

この聴診器は、電子聴診器といって、先端のマイクで拾った音が、電気信号となってゴム管の中の電線を通してイヤホンを鳴らします。

利点は、小さな音は電氣的に大きくすることができます(ただし雑音はあります)が、私が一番気に入っているのは、130グラムと今までの聴診器の約半分の重さで、肩こりになりにくい点です。



また「時刻表検定試験」を受けました。

昨年の6月に初めて受験したことを8月号に書きましたが、11月25日にまた(第5回)検定試験がありましたので、受けました。

第1種と第2種の2つの試験があり、両方受験しましたが、

第1種：122点(200点満点、前回139点)で、2級

第2種：184点(200点満点、前回193点)で、3級

でした。

前回より得点が低かったので、また勉強して、次回も必ず受けようと思います。

第6回時刻表検定試験 2002年6月23日(日)予定



時刻表検定協会のホームページ

<http://www.jikokuhyo.gr.jp/>

	点数	級
第1種	200 ~ 180	博士
	179 ~ 150	1級
	149 ~ 120	2級
第2種	200 ~ 160	3級
	159 ~ 120	4級
	119 ~ 90	5級

日本医師会提供の健康番組

げんきか

「からだ元気科」

毎週金曜日 11:00 ~ 11:25

読売テレビ(10チャンネル)

- 1月 4日 知られざる炭疽菌
- 11日 転倒予防教室
- 18日 成人喘息治療
- 25日 胃がんの化学療法

C型慢性肝炎の新薬の承認について

リバビリン(商品名:レベトール)が昨年12月に保険薬として承認されました。従来のインターフェロンによる治療と併用することによって、効果が高くなります。

詳細は次号以降でご紹介します。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9 ~ 12							×
午後4 ~ 7			×			×	×